

## RHDM-US シリーズ

# 画面で見るマニュアル



本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

「RHDM-US シリーズ」は iVDR-S 対応 USB アダプターです。

コンパクトでファンレスなので、机の上においても邪魔になりません。

また、添付のソフトウェアをインストールいただくと、以下のようにご利用いただけます。

- Wooo で録画した番組をパソコンで見ることができます。
- パソコンをコンテンツサーバーとして活用できます。
- ネットワークムーブ機能で、対応するテレビや RECBOX に録画したハイビジョンコンテンツを iVDR-S にダビングして Wooo や本製品で見ることができます。
- ネットワークムーブ機能で、iVDR-S のハイビジョンコンテンツを、RECBOX やブルーレイライターなどに書き出すことができます。
- iVDR-S のコンテンツ管理 (削除、リネーム) をおこなうことができます。
- nasne(ナスネ)<sup>TM</sup> の録画番組を、iVDR-S にムーブ (ダウンロード) できます。
- 別売の PEGASYS TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4 と組み合わせて、iVDR-S の動画カット編集が行えます。
- 外付け USB ハードディスクとして利用することができます。




※本製品には iVDR-S メディアは添付しておりません。



# もくじ

安全のために.....	3		
使用上のご注意.....	4		
Windows でデータドライブとして使う.....	6	添付ソフトウェア.....	33
ステップ1 接続する.....	6	I-O DATA ハードディスクフォーマッタの使い方.....	34
ステップ2 確認する.....	6		
ステップ3 取り外し手順を覚える.....	7	製品仕様.....	36
Mac OS でデータドライブとして使う.....	8		
ステップ1 初期化する.....	8	困ったときには.....	37
ステップ2 接続手順を覚える.....	10		
ステップ3 取り外し手順を覚える.....	10		
カセット HDD(iVDR-S) に録画した番組をパソコンで見る.....	11		
動作環境.....	11		
録画した番組をパソコンで見る.....	12		
iVDR-S メディアを取り外す場合.....	14		
DiXiM Digital TV plus iVDR Edition 自動起動について.....	15		
パソコンをコンテンツサーバーとして利用する.....	16		
動作確認機種.....	16		
パソコンをコンテンツサーバーとして利用する.....	16		
ネットワークムーブ機能でコンテンツを iVDR-S にムーブする.....	19		
ダビング・ムーブの操作例.....	21		
参考：視聴年齢制限番組のダビング設定をするには.....	25		
ネットワークムーブ機能でコンテンツを iVDR-S からムーブする.....	27		
iVDR-S のコンテンツをムーブする操作例.....	29		
iVDR-S のコンテンツを管理する (削除・リネーム).....	30		
コンテンツを削除するには.....	30		
コンテンツをリネームするには.....	31		
ペガシス社「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」連携.....	32		


# 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず記載事項をお守りください。







●警告および注意表示	
 <b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 <b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

●絵記号の意味	
 禁止	
 指示を守る	


## 危険

-  **本製品を修理・改造・分解しない**  
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

## 警告

-  **接触禁止**  
雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
-  **煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使用を中止する**  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  **ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない**  
火災・感電の原因となります。
  - ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
  - ・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に乗かないでください。
-  **決められた電源・ケーブルで使用する**  
所定以外の電源およびケーブルで、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。
-  **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**  
火災の原因となります。
-  **故障や異常のまま、接続しない**  
本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。  
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

## 注意

-  **本製品を踏まない**  
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

# 使用上のご注意

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。(保護されているコンテンツはバックアップできません。)

弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。

また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。

## バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスクや BD・DVD メディアなど）にデータの複製を作成することをいいます。

外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。

同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。

万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

## 故障を防ぐために以下にご注意ください。

- 本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

《使用時 / 保管時》

- ・振動や衝撃の加わる場所 ・直射日光のあたる場所 ・湿気やホコリが多い場所
- ・温度差の激しい場所 ・熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ・強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ・水気の多い場所（台所、浴室など） ・傾いた場所
- ・腐食性ガス雰囲気中（Cl<sub>2</sub>、H<sub>2</sub>S、NH<sub>3</sub>、SO<sub>2</sub>、NO<sub>X</sub> など） ・静電気の影響の強い場所

《使用時のみ》

- ・保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ・製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがりやすい場所

- 本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ・落としたり、衝撃を加えない
- ・本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ・重いものを上にのせない
- ・本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

- アクセスランプ点灯 / 点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

- 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

## その他のご注意

- スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能はご利用いただけません。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。OS 起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。
- 本製品接続時、他の USB 機器を使う場合に注意してください。
  - ・本製品の転送速度が遅くなる場合があります。
  - ・本製品を USB ハブに接続しても使えない場合があります。その場合は、パソコンの USB ポートに直接、接続してください。
- Active Directory には対応していません。

## お手入れについて

- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

## ラジオやテレビの近くで使用する場合のご注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 廃棄や譲渡の際のご注意

**データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。**

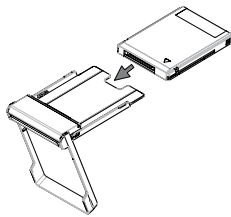
- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。  
※ハードディスク上のソフトウェアについて  
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

# Windows でデータドライブとして使う

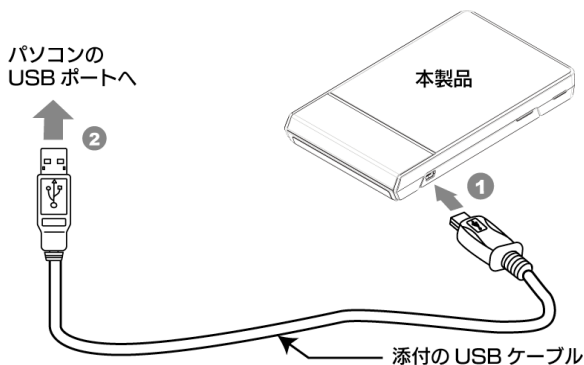
## ステップ1 接続する

1 パソコンの電源スイッチを ON にします。  
まだ本製品を接続しないでください。

2 iVDR-S メディアを本製品に装着します。



3 パソコンに接続します。



4 はじめて使用する場合は、フォーマットします。

添付の I-O DATA ハードディスクフォーマッタをお使いください。  
【iVDR メディアを Wooo で利用可能な iVDR 方式でフォーマットする】(34 ページ) 参照

### ご注意

USB コネクタは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

### 参考

弊社製 USB3-EXC3 や CBUS2 シリーズ、および電源コンセントに接続していない USB ハブ (モニターやキーボードにある USB ポートを含む) に接続する場合は、別売の AC アダプター (USB-ACADP4) が必要となります。本製品に AC アダプターを接続する時は、本製品をパソコンに接続していない状態で行ってください。

別売の AC アダプター (USB-ACADP5) は、アイオプラザ (<http://www.ioplaza.jp/>) でお買い求めいただけます。

詳しくは、以下を参照してください。

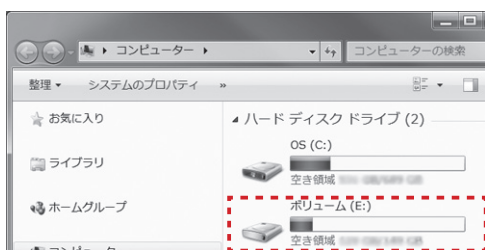
<http://www.iodata.jp/product/hdd/option/usb-acadp5/>

## ステップ2 確認する

1 コンピューター (マイコンピュータ) でアイコンが追加されていることを確認します。

以下のハードディスクのアイコンが増えていれば本製品を使用できます。

### ▼ Windows 7 の場合



### ▼ Windows Vista の場合



### ▼ Windows XP の場合



### ドライブ文字は環境により異なります

ドライブ文字 (ドライブアイコン横のアルファベット表示) は、お使いのパソコン環境により異なります。

以上で本製品にデータを書き込むことができます。

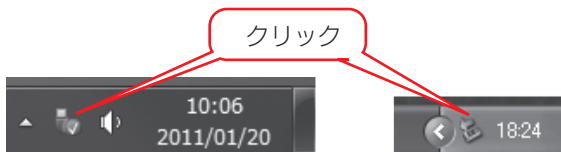
## ステップ3 取り外し手順を覚える

※ ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

▼ Windows 7、Vista の例

▼ WindowsXP



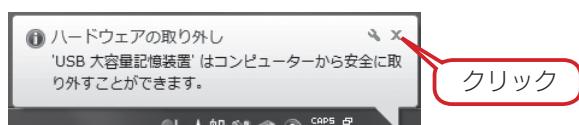
2 本製品の表示をクリックします。



### ドライブ文字は環境により異なります

ドライブ文字（ドライブアイコン横のアルファベット表示）は、お使いのパソコン環境により異なります。

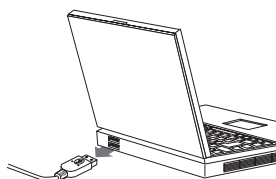
3 メッセージを確認します。



### 表示は OS により異なります

- Windows Vista の場合： [OK] ボタンをクリックします。
- Windows XP の場合： [×] をクリックします。

4 本製品を取り外します。



### ご注意

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。



# Mac OS でデータドライブとして使う

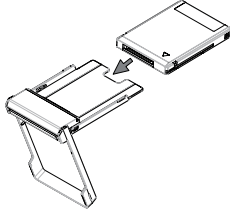
## ご注意

- Mac OS で初期化した場合、Wooo で録画はできません。Wooo で録画した番組とパソコンのデータを共存することはできません。
- 一度初期化をすれば、次回以降ご使用の際には、初期化の必要はありません。  
一度初期化をすれば、次回以降ご使用の際には、初期化は必要ありません。接続して、そのままお使いいただけます。
- 初期化を行うとデータは消去されます。  
大切なデータが保存されている場合は、必ずバックアップを行ってから初期化してください。
- 本製品以外の USB 機器をできるだけ取り外します。  
初期化を行う際、本製品以外に USB 機器を接続している場合は、誤消去を防ぐため極力外しておくことを強くおすすめします。
- コネクターの向きに注意  
USB コネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

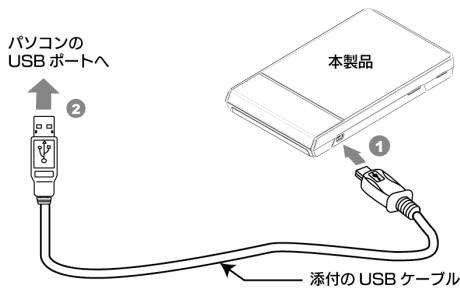
## ステップ1 初期化する

1 パソコンの電源スイッチを ON にします。  
まだ本製品は接続しないでください。

2 iVDR-S メディアを本製品に装着します。



3 パソコンに接続します。



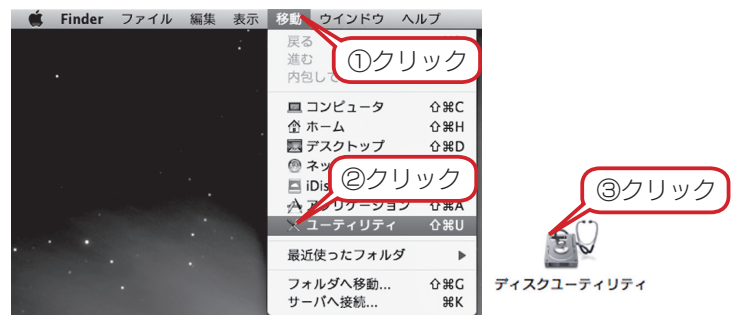
## ご注意

本製品をパソコンに接続した際、Mac OS の仕様で、Time Machine 機能の画面が表示されることがあります。[消去] をクリックすると、本製品のフォーマットが始まります。誤ってデータを消去しないようご注意ください。

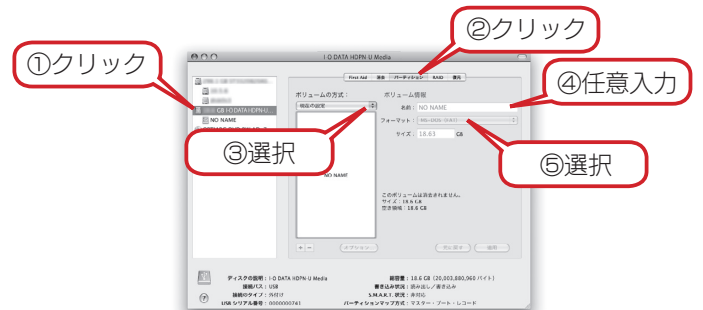
※ Time Machine 機能については、Apple 社ホームページをご確認ください。



4 メニューから [移動] → [ユーティリティ] → [ディスクユーティリティ] の順にクリックします。



5 本製品を選択し、[パーティション] タブをクリックします。  
初期化の設定を行い、[適用] または [パーティション] ボタンをクリックします。



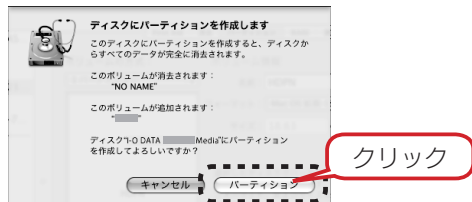
※ Mac OS X 10.5 で本製品が 640GB 以上の場合は、次ページ参照。  
※ フォーマットの選び方については、次ページ参照。



## フォーマットの種類の選び方

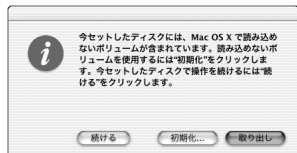
- Mac OS のみでご使用いただく場合には、「Mac OS 拡張」から始まる名称のフォーマットで、1パーティションで使用することをお奨めします。  
「Mac OS 拡張」の場合、Mac OS のみでお使いいただけるようになります。(Windows では認識できません。) なおフォーマットの違いは、Apple 社ホームページにてご確認ください。
- Mac OS X でデータをコピーする際の注意  
Mac OS X でデータをコピーする際、コピー元とコピー先のハードディスクのフォーマットが異なると、エラーが発生する場合があります。その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。
- Mac OS 10.4.1 以降と Windows パソコンで併用される場合のご注意  
FAT32 フォーマットを行う事で共用することができます。  
※ FAT32 フォーマットでご使用いただける 1 ファイルの最大サイズは 4GB までです。  
※ FAT32 フォーマットの場合、Mac 環境でマウントする場合に時間がかかることがあります。  
※ FAT32 フォーマットを行う場合は、Windows パソコンで、添付の Windows 専用ソフト「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」でフォーマットしてください。【iVDR メディアを Wooo で利用可能な iVDR 方式でフォーマットする】(34 ページ)

- 6 [パーティション] ボタンをクリックします。  
→初期化が始まります。



### 以下の画面が表示される場合があります。

[続ける] ボタンをクリックします。  
この画面は、表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。  
本製品がパソコンに認識されなくなった場合は、パソコンに接続している USB ケーブルを一度抜き差ししてください。



- 7 画面左上の [ⓧ] をクリックし、画面を閉じます。

以上で本製品にデータを書き込むことができます。

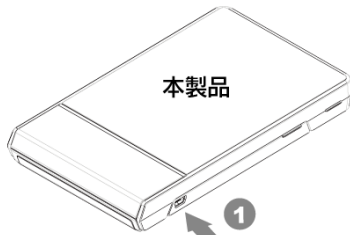
## ステップ2 接続手順を覚える

1 パソコンの電源スイッチをONにします。  
まだ本製品を接続しないでください。

2 パソコンに接続します。

パソコンの  
USBポートへ

2



添付のUSBケーブル

### ご注意

USBコネクタは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USBケーブルやパソコンのUSBポートが破損する恐れがあります。

3 アイコンが追加されたことを確認します。  
以下のようにハードディスクのアイコンが増えていれば本製品を使用できます。  
本製品の名称はフォーマット時に任意で入力したものになります。

確認



## ステップ3 取り外し手順を覚える

1 本製品のアイコンをごみ箱に捨てます。  
本製品の名称はフォーマット時に設定したものになります。



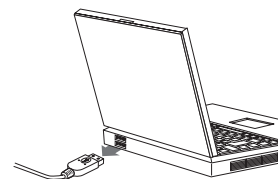
### ファイルメニューからの取り外し手順

[ファイル]メニューより["xxxx"]を取り出すをクリックした後、取り外すこともできます。

※ [xxxx]にはフォーマット時に設定した本製品の名称が入ります。



2 本製品を取り外します。



### ご注意

ケーブルはコネクタを持って抜きます。

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

# カセット HDD(iVDR-S) に録画した番組をパソコンで見る

## 動作環境

カセット HDD(iVDR-S) に録画した番組をパソコンで見るには以下の動作環境が必要です。

対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows® 8 (32 ビット版 /64 ビット版)</li> <li>• Windows® 7 (32 ビット版 /64 ビット版) Home Premium 以上※</li> <li>• Windows Vista® SP2 以降 (32 ビット版 /64 ビット版) Home Premium/Ultimate ※</li> </ul> ※ Windows Aero 有効にする必要があります。
CPU	Celeron DC® 2GHz 以上、Pentium4® 2.8GHz 以上 (Core2 Duo® 以上を推奨) または同等以上の互換 CPU
グラフィックス (GPU)	Intel® G965 Express チップセット以降 ATI Radeon™ HD 2600 以上 NVIDIA® GeForce® 8400 GS 以上 ※ COPP 対応の高性能グラフィックスボードおよび、COPP 対応グラフィックスドライバーが必要です。 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 対応のグラフィックスボードが必要です。 ※アナログ RGB 接続には対応していません。
メモリー	2G バイト以上推奨
サウンドデバイス	Microsoft MME または WDM に準拠した Windows 互換サウンドデバイス必須
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color 以上 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 対応ディスプレイが必要です。 ※アナログ RGB 接続には対応していません。
インターネット接続環境	初回起動時のみ必須
その他ご注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DiXiM Digital TV plus iVDR Edition を起動するには、iVDR メディアがセットされたアダプターがお使いのパソコンに接続されている必要があります。</li> <li>• アダプターが接続されていない場合は、DiXiM Digital TV plus iVDR Edition を起動することはできません。</li> <li>• DiXiM Digital TV plus iVDR Edition を使用する場合は、コンピューターの管理者権限が必要です。</li> <li>• 本製品を複数台同時に使用することはできません。</li> <li>• 1 台のパソコンで複数のディスプレイをお使いの場合は、プライマリーのディスプレイ以外は再生できません。また、2 つの画面に同じ内容を表示する「ミラーモード」ではプライマリーディスプレイであっても再生できません。</li> <li>• Wooo で録画した番組とパソコンのデータを共存することはできません。</li> <li>• スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能には対応していません。</li> </ul>

次ページ以降のステップに沿って設定をしてください。

### ■ 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」に関するお問い合わせ

弊社では、「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」に関するサポートはおこなっておりません。

「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」の使い方や不明な点は、株式会社アスクにお問合せください。

問い合わせ方法については、インターネットによるサポートのみとなります。下の「お問い合わせページ」よりお問い合わせください。

※ユーザーサポートをご利用いただくには、事前にユーザー登録が必要となります。ご登録いただいていないお客様は、ユーザーサポートをご利用いただけません。

●お問合せフォーム [http://www.ask-support.com/askware/?page\\_id=373](http://www.ask-support.com/askware/?page_id=373)

●メール [support@ask-digital.co.jp](mailto:support@ask-digital.co.jp)

●ホームページ <http://www.ask-support.com/askware/>

サポート時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

※土日祝日、株式会社アスクのサポートセンター休業日を除く。

# 録画した番組をパソコンで見る

## ステップ1：パソコンがインターネットに接続されていることを確認します

※設定時のみ、インターネット環境が必要となります。インストール完了後はインターネット環境に関係なく番組を視聴することができます。

## ステップ2：I-O DATA iVDR-S Media Server をインストールします

※「I-O DATA iVDR-S Media Server」については、パソコン2台までインストールすることができます。

**1** パソコンにサポートソフト CD-ROM をセットします。

**2** サポートソフトメニューが表示されたら、[サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。

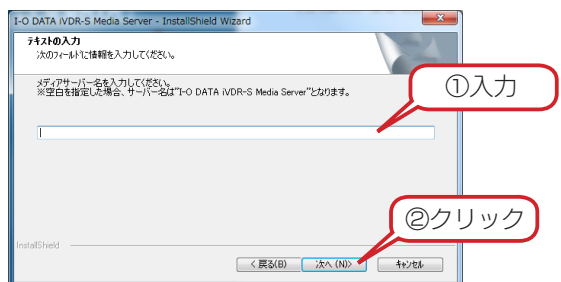


**3** はじめに [I-O DATA iVDR-S Media Server トレイツール] をインストールします。[I-O DATA iVDR-S Media Server] ボタンをクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

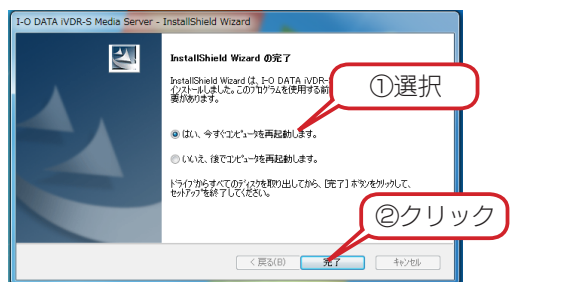


**4** 次に [I-O DATA iVDR-S Media Server] のインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールしてください。

**5** 「I-O DATA iVDR-S Media Server」のサーバー名を指定することができます。インストール時に以下の画面が表示されたら、サーバー名を入力し、インストールを続行してください。※空白で指定した場合、サーバー名は「I-O DATA iVDR-S Media Server」となります。



**6** インストール完了後に再起動を求められますので、[はい] を選択し、[完了] ボタンをクリックします。パソコンが再起動します。



**7** タスクトレイにアイコンが表示されていることを確認します。



### ご注意

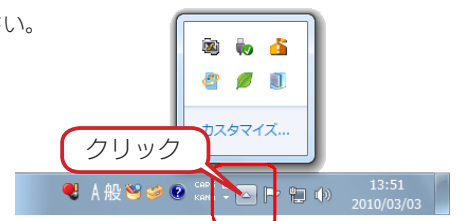
[パブリックネットワーク] 環境でご使用の場合は Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。設定方法については、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル] 内「Windows ファイアウォールの設定」をご覧ください。

### ご注意

「I-O DATA iVDR-S Media Server」の使用方法については、[スタートメニュー] → [I-O DATA] を順にクリックし、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル] をご覧ください。

### タスクトレイにアイコンが見当たらない

Windows 7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイの (アイコンの画像) ボタンをクリックしてください。



### ステップ3 : DiXiM Digital TV plus iVDR Edition をインストールします

※すでに「DiXiM Digital TV」「DiXiM Digital TV Plus」がインストールされている場合は、【ステップ4】にお進みください。

※「DiXiM Digital plus TV iVDR Edition」については、パソコン2台までインストールすることができます。

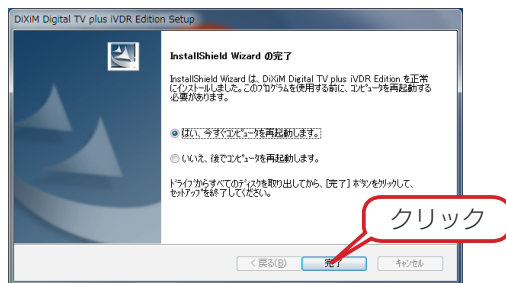
1 [サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。



2 [DiXiM Digital TV plus iVDR Edition] ボタンをクリックします。  
画面の指示にしたがってインストールしてください。



3 以下の画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックし、再起動します。  
※お使いの環境によっては、2回再起動を求められる場合があります。



4 デスクトップにショートカットアイコンが表示されていることを確認してください。

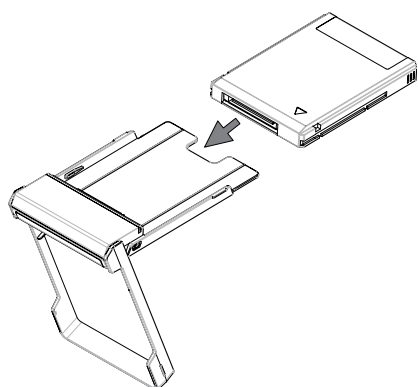


#### ご注意

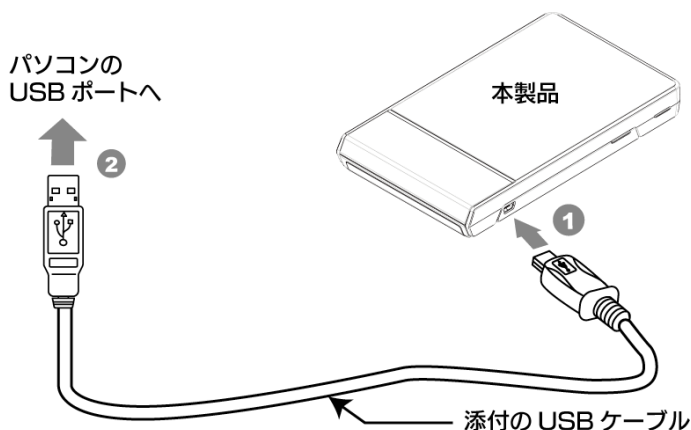
お使いの環境によっては、シリアル番号が自動入力されない場合があります。その場合は、製品添付の別紙【カセット HDD(iVDR-S) に録画した番組をパソコンで見る】に記載のシリアル番号を入力してください。

### ステップ4 : パソコンに本製品と iVDR-S メディアを接続します

1 録画された iVDR-S メディアを本製品に装着します。



2 本製品をパソコンに接続します。



#### ご注意

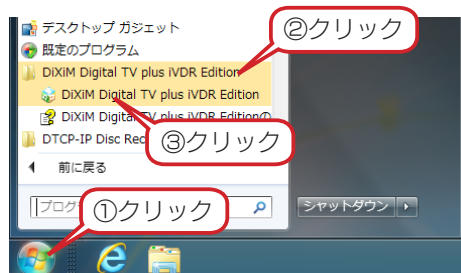
USB コネクタは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

#### ご注意

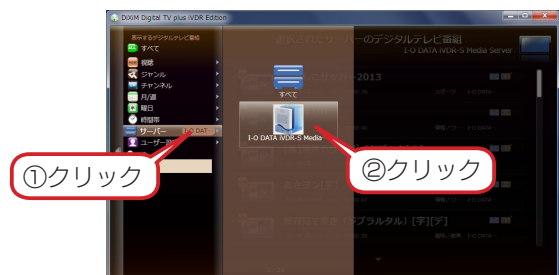
「I-O DATA iVDR-S Media Server」が停止時や、「I-O DATA iVDR-S Media Server」がインストールされていない場合は iVDR-S メディアにアクセスすることができます。  
誤って、Wooo で録画した番組を削除しないよう、ご注意ください。

## ステップ5 : 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」で番組を再生します

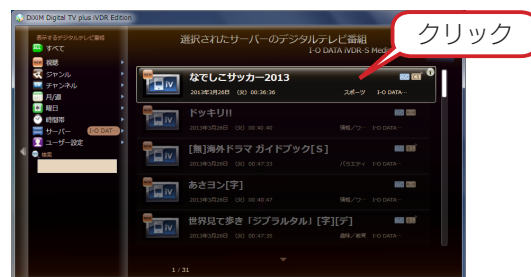
- 1 [スタートメニュー] → [DiXiM Digital TV plus iVDR Edition] → [DiXiM Digital TV plus iVDR Edition] の順にクリックします。  
→ 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」が起動します。



- 2 「サーバー」 → 「I-O DATA iVDR-S Media Server※」をクリックします。  
※サーバー名を変更した場合は、変更した名称が表示されます。



- 3 iVDR-S メディアに保存された番組のリストが表示されますので、再生したい番組をクリックすると再生されます。



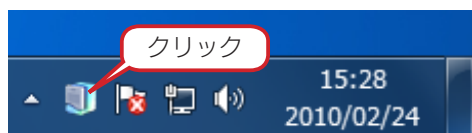
### ご注意

「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」の使用方法については、[スタートメニュー] → 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」を順にクリックし、「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition ヘルプ」をご覧ください。

## iVDR-S メディアを取り外す場合

iVDR-S メディアを取り外す場合の手順を説明します。

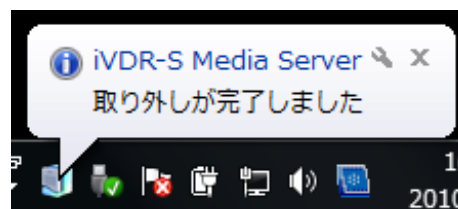
- 1 タスクトレイの「I-O DATA iVDR-S Media Server」アイコンをクリックします。



- 2 「iVDR 取り外し」をクリックします。



- 3 「取り外しが完了しました」と表示されたら、本製品または iVDR-S メディアを取り外します。

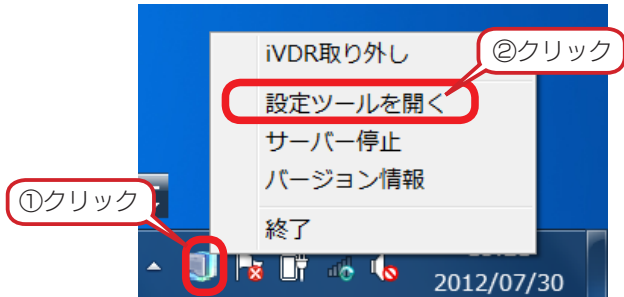




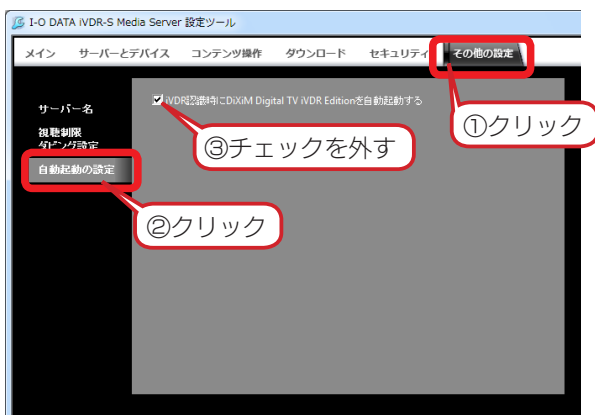
# DiXiM Digital TV plus iVDR Edition 自動起動について

I-O DATA iVDR-S Media Server には、iVDR-S メディアを認識すると、DiXiM Digital TV plus iVDR Edition を自動起動する機能があります。本機能を利用しない場合は、以下の設定をおこなってください。

- 1 I-O DATA iVDR-S Media Server を起動します。  
アイコンをクリック→[設定ツールを開く]をクリックします。



- 2 [その他の設定]をクリックし、[自動起動の設定]をクリックし、[iVDR 認識時に DiXiM Digital TV iVDR Edition を自動起動する]のチェックを外します。





# パソコンをコンテンツサーバーとして利用する

パソコンを iVDR コンテンツサーバーとして利用できます。

ノートパソコンの画面が狭い時や、iVDR 環境がないところで大画面で楽しみたい時など、

DLNA 対応 (DTCP-IP 対応) テレビやメディアプレイヤーなどで、iVDR-S のハイビジョンコンテンツが楽しめます。

## 動作確認機種

株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメント製	PlayStation®3 ※ PlayStation および PLAYSTATION は、株式会社ソニー・コンピュータエンターテインメントの登録商標です。
株式会社デジオン製	DiXiM Digital TV、DiXiM Digital TV plus、 DiXiM Diital TV 2013 for I-O DATA
弊社製	AV-LS700、HVT-BCT300、HVT-BCT300L

## パソコンをコンテンツサーバーとして利用する

### ステップ1：パソコンがインターネットに接続されていることを確認します

※設定時のみ、インターネット環境が必要となります。インストール完了後はインターネット環境に関係なく番組を視聴することができます。

### ステップ2：I-O DATA iVDR-S Media Server のインストールを行います

※「I-O DATA iVDR-S Media Server」については、パソコン 2 台までインストールすることができます。

※すでに I-O DATA iVDR-S Media Server がインストール済みの場合は、ステップ 3 へお進みください。

**1** パソコンにサポートソフト CD-ROM をセットします。

**2** サポートソフトメニューが表示されたら、[サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。

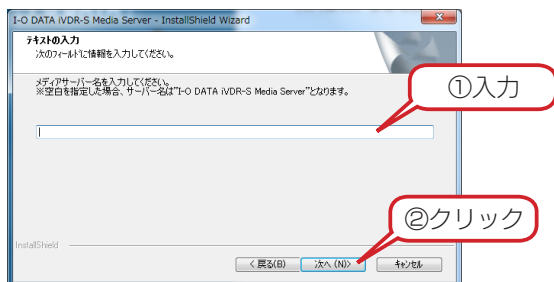


**3** はじめに [I-O DATA iVDR-S Media Server ツール] をインストールします。  
[I-O DATA iVDR-S Media Server] ボタンをクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

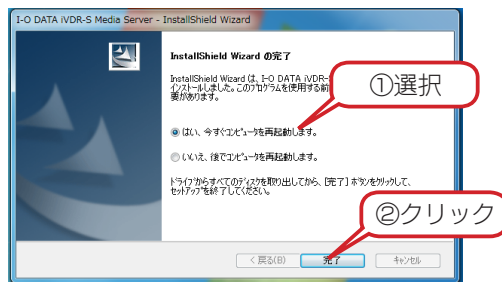


**4** 次に [I-O DATA iVDR-S Media Server] のインストールがはじまりますので、画面の指示にしたがってインストールしてください。

**5** 「I-O DATA iVDR-S Media Server」のサーバー名を指定することができます。  
インストール時に以下の画面が表示されたら、サーバー名を入力し、インストールを続行してください。  
※空白で指定した場合、サーバー名は「I-O DATA iVDR-S Media Server」となります。



**6** インストール完了後に再起動を求められますので、[はい]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。  
パソコンが再起動します。



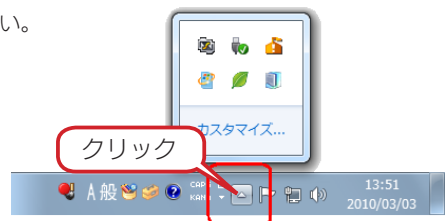
**7** タスクトレイにアイコンが表示されていることを確認します。



**ご注意**  
「パブリックネットワーク」環境でご使用の場合は Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。  
設定方法については、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]内「Windows ファイアウォールの設定」をご覧ください。

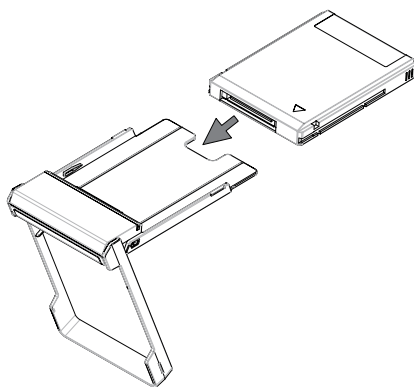
**ご注意**  
「I-O DATA iVDR-S Media Server」の使用方法については、[スタートメニュー]→[I-O DATA]を順にクリックし、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]をご覧ください。

**タスクトレイにアイコンが見当たらない**  
Windows 7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイの（アイコンの画像）ボタンをクリックしてください。



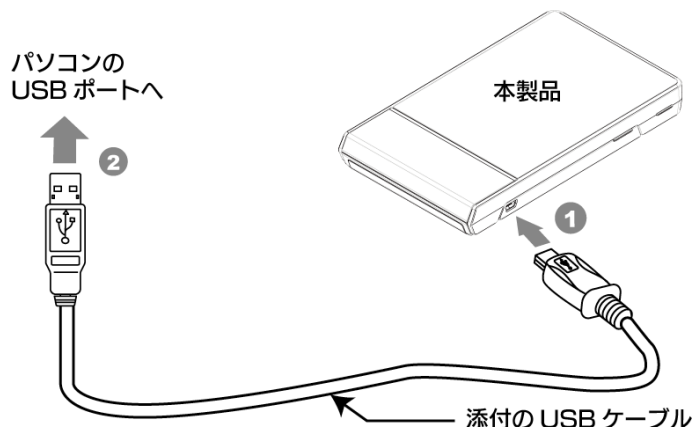
**ステップ3：パソコンに本製品と iVDR-S メディアを接続します**

**1** 録画された iVDR-S メディアを本製品に装着します。



**ご注意**  
「I-O DATA iVDR-S Media Server」が停止時や、「I-O DATA iVDR-S Media Server」がインストールされていない場合は iVDR-S メディアにアクセスすることができます。  
誤って、Wooo で録画した番組を削除しないよう、ご注意ください。

**2** 本製品をパソコンに接続します。



**ご注意**  
USB コネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USB ケーブルやパソコンの USB ポートが破損する恐れがあります。

## ステップ4：確認する

DLNA 対応 (DTCP-IP 対応) テレビやメディアプレイヤーを起動して「I-O DATA iVDR-S Media Server<sup>※</sup>」が認識されていることを確認し、再生してください。再生手順などの操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

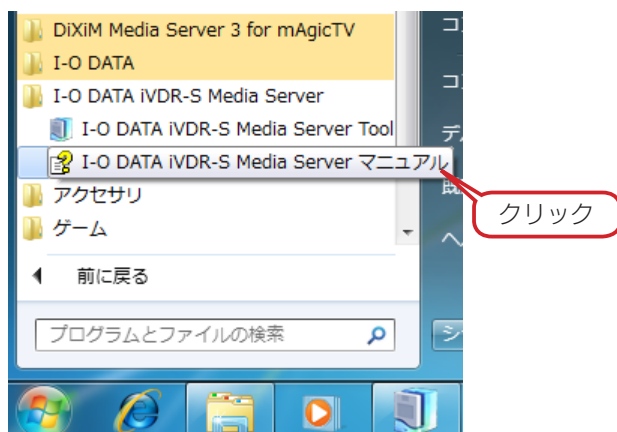
※サーバー名を変更した場合は、変更されたサーバー名が表示されます。

### ご注意

- 再生中に別の機器での再生を行うことはできません。

「I-O DATA iVDR-S Media Server」に関する詳しい操作方法については、以下の手順にてマニュアルをご覧ください。

[スタートメニュー] → [I-O DATA] → [I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル] を順にクリックします。



# ネットワークムーブ機能でコンテンツを iVDR-S にムーブする

ネットワークダビング・ムーブに対応した録画テレビや、RECBOX に録画したコンテンツを iVDR-S にダビング・ムーブし、Wooo やパソコンで再生することができます。

iVDR-S へネットワークダビング・ムーブしたコンテンツは、iVDR-S から他機器へのネットワークムーブはできません。コンテンツを転送する場合にはご注意ください。

## ご注意

- スカパー！プレミアムサービス Link のコンテンツを再生するには、H.264 に対応した再生環境が必要です。
- スカパー！プレミアムサービス Link 録画およびダビングには対応していません。
- スカパー！プレミアムサービス Link コンテンツは、「RECBOX」などの対応 DTCP-IP サーバーから iVDR-S にムーブできます。

## ステップ1：パソコンがインターネットに接続されていることを確認します

※設定時のみ、インターネット環境が必要となります。インストール完了後はインターネット環境に関係なく番組を視聴することができます。

※パソコンで再生する際は、11 ページの推奨環境をご確認ください。他の再生環境の場合には、再生機器の仕様をご確認ください。

## ステップ2：I-O DATA iVDR-S Media Server のインストールを行います

※「I-O DATA iVDR-S Media Server」については、パソコン 2 台までインストールすることができます。

※すでに I-O DATA iVDR-S Media Server がインストール済みの場合は、ステップ 3 へお進みください。

1 パソコンにサポートソフト CD-ROM をセットします。

2 サポートソフトメニューが表示されたら、[サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。

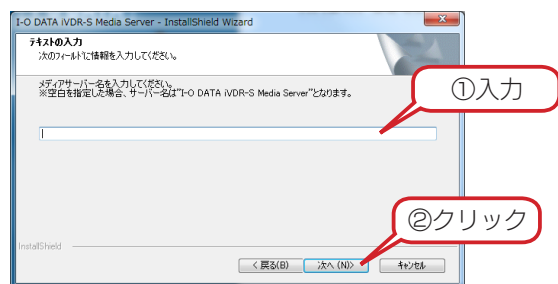


3 はじめに [I-O DATA iVDR-S Media Server トレイツール] をインストールします。[I-O DATA iVDR-S Media Server] ボタンをクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

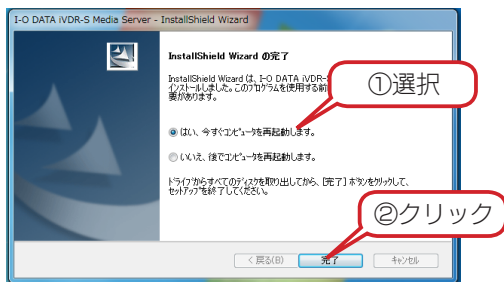


4 次に [I-O DATA iVDR-S Media Server] のインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールしてください。

5 「I-O DATA iVDR-S Media Server」のサーバー名を指定することができます。インストール時に以下の画面が表示されたら、サーバー名を入力し、インストールを続行してください。※空白で指定した場合、サーバー名は「I-O DATA iVDR-S Media Server」となります。



**6** インストール完了後に再起動を求められますので、[はい]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。パソコンが再起動します。



**ご注意**

「パブリックネットワーク」環境でご使用の場合は Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。設定方法については、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]内「Windows ファイアウォールの設定」をご覧ください。

**ご注意**

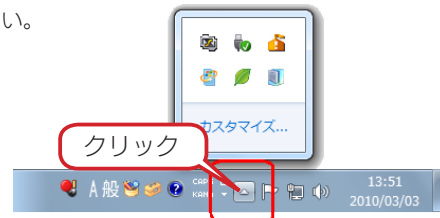
[I-O DATA iVDR-S Media Server] の使用方法については、[スタートメニュー]→[I-O DATA]を順にクリックし、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]をご覧ください。

**7** タスクトレイにアイコンが表示されていることを確認します。



**タスクトレイにアイコンが見当たらない**

Windows 7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイの (アイコンの画像) ボタンをクリックしてください。

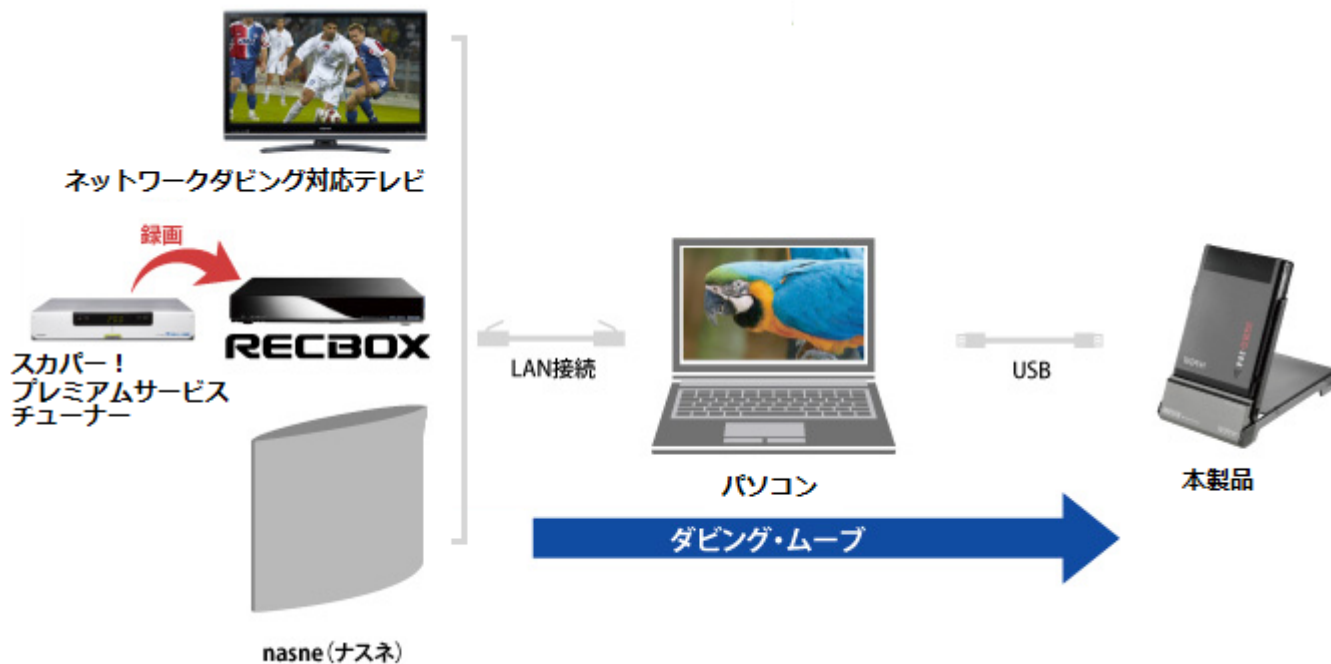


**ステップ3：ダビング・ムーブする**

ネットワークダビング・ムーブに対応した録画テレビや、弊社 DTCP-IP 対応 LAN 接続ハードディスクを操作して、コンテンツを iVDR-S にダビング・ムーブします。

次ページのダビング・ムーブの操作例をご覧ください。

※ あらかじめ iVDR フォーマットした iVDR-S メディアをセットしてください。フォーマット方法は、【iVDR メディアを Wooo で利用可能な iVDR 方式でフォーマットする】(34 ページ)をご覧ください。



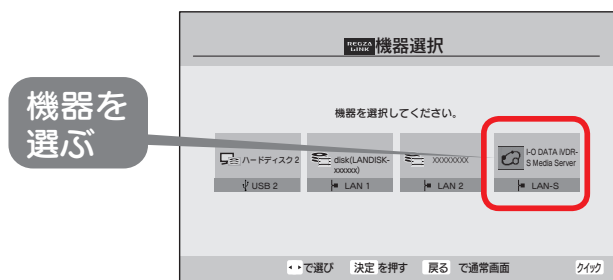
# ダビング・ムーブの操作例

## ●例1

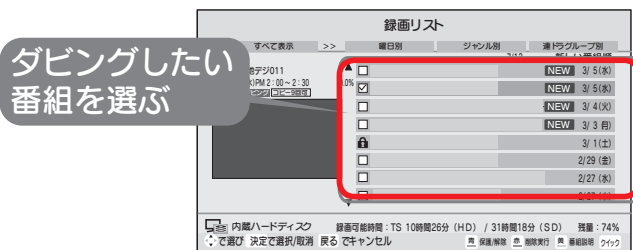
以下は、東芝液晶テレビ（レグザ）から本製品へダビング・ムーブする場合の操作例です。

**1** リモコンの[レグザリンク]を押し、[映像を見る / 機器選択]を選び、**決定**を押します。

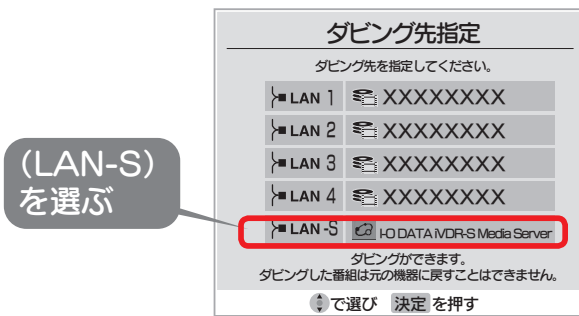
**2** [機器選択]から、ダビングしたい番組の入っている機器を選択し、**決定**を押します。



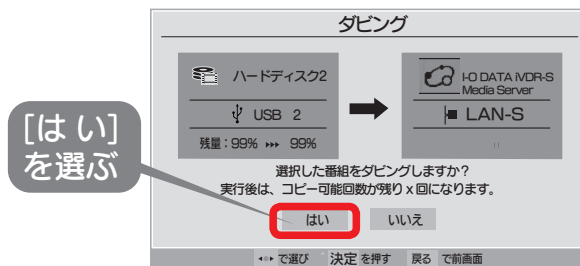
**3** 表示された録画リスト画面でダビングしたい番組を選び、リモコンの[緑]（ダビング）を押します。  
※10回目の転送時の場合、またはダビング10非対応の場合、画面の表記が「ムーブ」になります。



**4** ダビング先の機器を選択します。  
「LAN-S」で表示される「I-O DATA iVDR-S Media Server」を選択し、**決定**を押します。  
※録画中や、移動先のハードディスクの容量が不足している場合はダビングできません。  
※ダビング中は、録画や録画した番組の再生はできません。



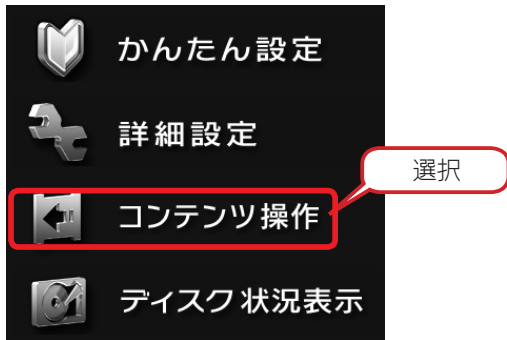
**5** ダビングを実行します。  
「選択した番組をダビングしますか?」で[はい]を選び、**決定**を押します。  
ダビング中は、その進行状況が画面右下に表示されます。  
※ダビング中に録画予約の開始時間になりそうな場合は、ダビングできません。  
※画面に表示される状況（パーセント表示）は目安です。  
※ダビング中は、本製品の録画ランプが赤色に点灯します。



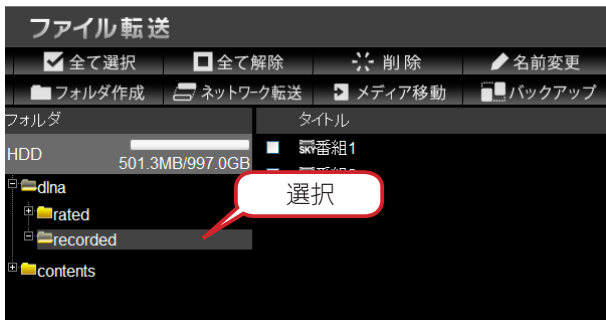
## ●例 2

以下は、当社ハイビジョンレコーディング HDD 「RECBOX」 シリーズから本製品へダビング・ムーブする場合の操作例です。

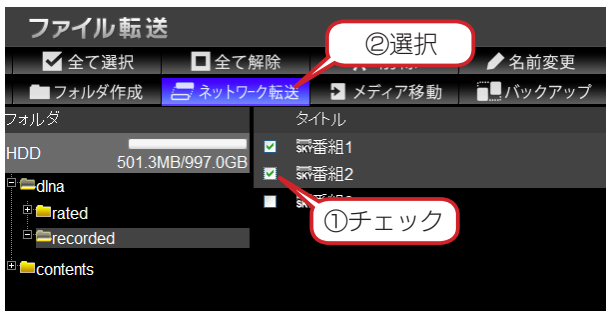
- 1 「RECBOX」シリーズの設定画面で、[コンテンツ操作] を選びます。  
※設定画面の開き方は、LAN DISK AV シリーズの取扱説明書をご覧ください。



- 2 左のフォルダー一覧で、ムーブするコンテンツが保存されたフォルダーを選択します。



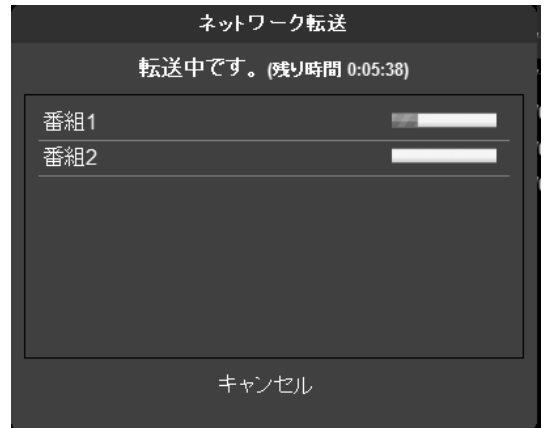
- 3 ムーブするコンテンツにチェックを付け、[コンテンツ移動] または [転送] を選択します。



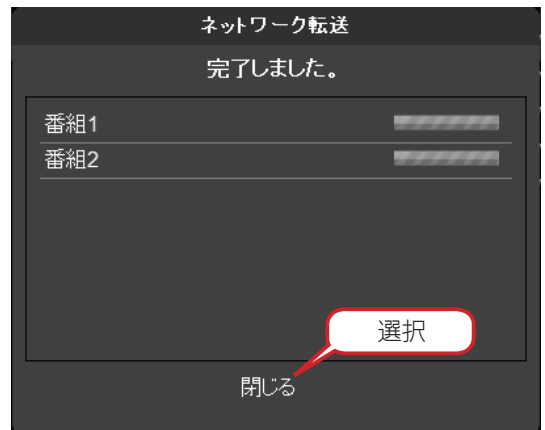
- 4 ムーブ先を選択します。  
本製品を選択して、[次へ] を選択します。



- 5 内容を確認し、[開始] を選択します。  
ムーブを開始し、状況が表示されます。



- 6 「完了しました」と表示されたら、[閉じる] を選択します。



これで、ムーブは完了です。



### ●例3

以下は、mMagicTV Digital アプリケーションから、本製品へダビング・ムーブする場合の操作例です。

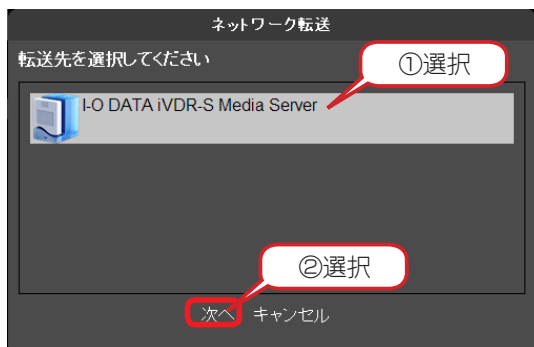
1 「mMagic ガイド Digital」を起動し、[ライブラリ]をクリックします。



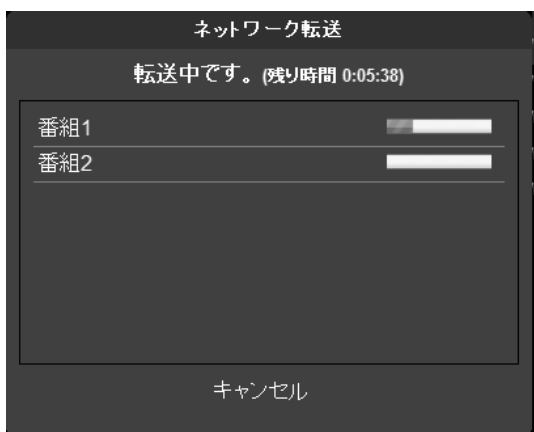
2 番組を選択し、右クリックして、[エクスポート]→[DTCP-IPサーバへのダビング(コピー/ムーブ)]を選択します。



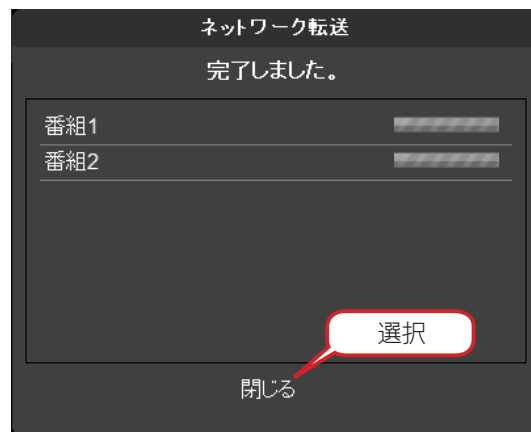
3 ダビング先を選択します。  
本製品を選択して、[次へ]を選択します。



4 内容を確認し、[開始]を選択します。  
ムーブを開始し、状況が表示されます。



5 「完了しました」と表示されたら、[閉じる]を選択します。

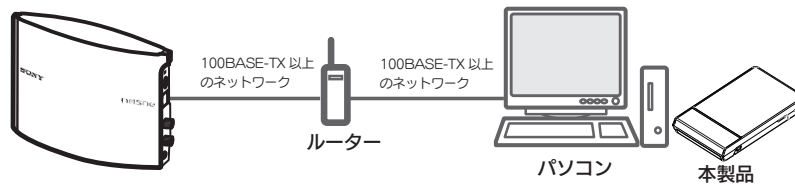


これで、ムーブは完了です。

## ●例4

以下は、ソニーコンピュータエンターテインメント製 nasne(ナスネ)™ からコンテンツをダビング・ムーブ(ダウンロード)する場合の操作例です。

nasne(ナスネ)™ の録画番組を、本製品へダウンロードムーブする場合は、下図のような同じネットワークに nasne(ナスネ)™ とパソコンが接続されている必要があります。



有線LANでも無線LANでも可能ですが、無線LANの場合は、無線LANの暗号化が有効になっている必要があります。

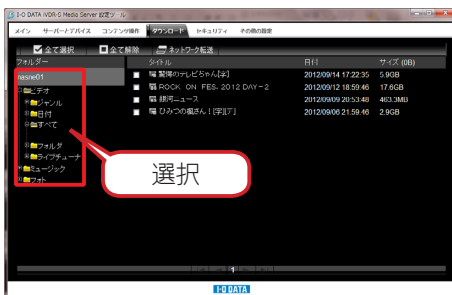
1 iVDR-S Media Server 設定ツールを開きます。



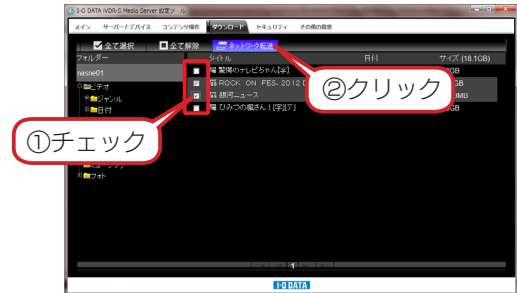
2 [ダウンロード] タブを選択します。  
nasne(ナスネ)™ を認識している場合、左にフォルダリストが表示されます。



3 [ビデオ] フォルダを選択します。  
[ジャンル]、[日付]、[すべて] から、探しやすいフォルダを選択します。



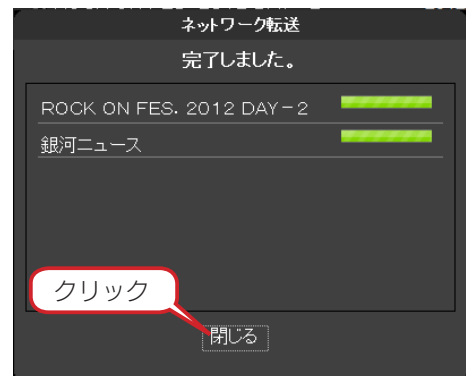
4 ダビングするコンテンツにチェックを付け、[ネットワーク転送] をクリックします。



5 [開始] をクリックします。  
→ダウンロードムーブが実行されます。  
いつでもキャンセルできます。



6 「完了しました」と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。  
※ nasne(ナスネ)™ 側のコンテンツが、地デジなどのダビング 10 のコンテンツの場合は、コピーカウントが 1 つ減ります。有料などのノーモアコピーのコンテンツの場合は、削除されます。



これで、本製品へのダウンロードムーブは完了です。

## 参考：視聴年齢制限番組のダビング設定をするには

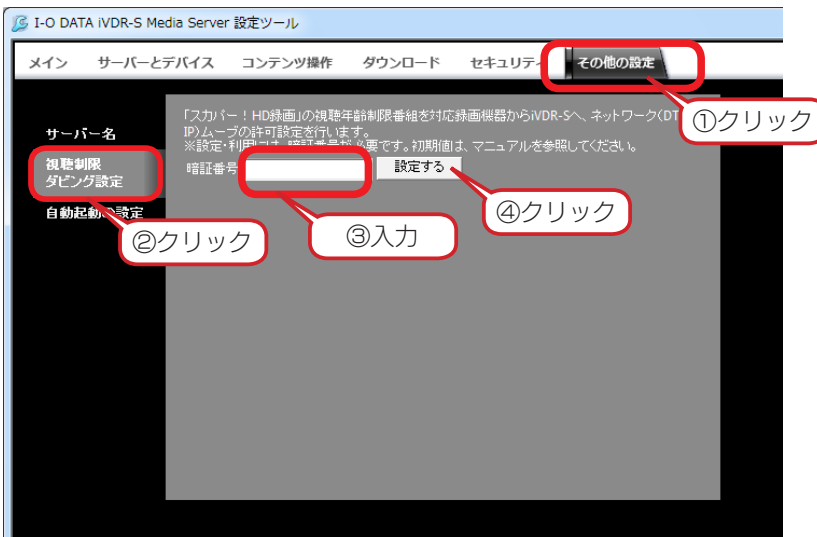
当社製ハイビジョンレコーディングハードディスク「RECBOX」内の視聴年齢制限番組のダビングをおこなうときは、iVDR-S に以下の設定をおこなってください。

本製品の設定を行うには、パソコンで以下の操作をおこなう必要があります。

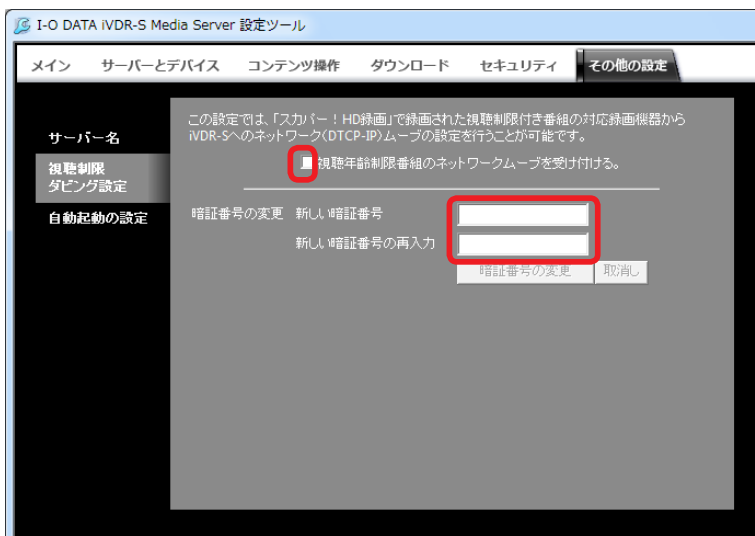
### ご注意

この設定をおこなうと、お子様に有害なコンテンツが、iVDR-S メディアに記録される場合があります。iVDR-S メディアに記録されたコンテンツは、対応する再生機器で制限なく再生できますので、iVDR-S メディアの管理には十分に気を付けてください。

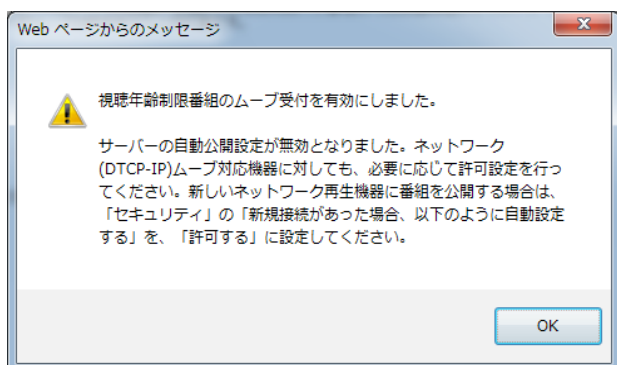
- 1 I-O DATA iVDR-S Media Server 設定ツールのウィンドウ上部の [ その他の設定 ] タブをクリックし、画面左側の [ 視聴年齢制限ダビング設定 ] タブをクリックします。すると、以下のような画面が表示されます。  
暗証番号を入力し、[ 設定する ] ボタンをクリックします。（初期状態では暗証番号は「0000」となっています。）



- 2 [ 視聴年齢制限番組のネットワーク（DTCP-IP）ムーブを受ける / 受け付けないを設定する ]  
視聴年齢制限番組のネットワークムーブを受けるには、「視聴年齢制限番組のネットワークムーブを受け付ける」にチェックマークを付けます。受け付けないようにするには、チェックマークを外します。  
[ 暗証番号を変更する ]  
上記にて入力した暗証番号を変更したい場合は、「新しい暗証番号」と「新しい暗証番号の再入力」に新しく設定する暗証番号を入力します。  
異なる暗証番号を入力した場合には、入力テキストの右側に赤字でエラーが表示されますので、再度入力しなおしてください。

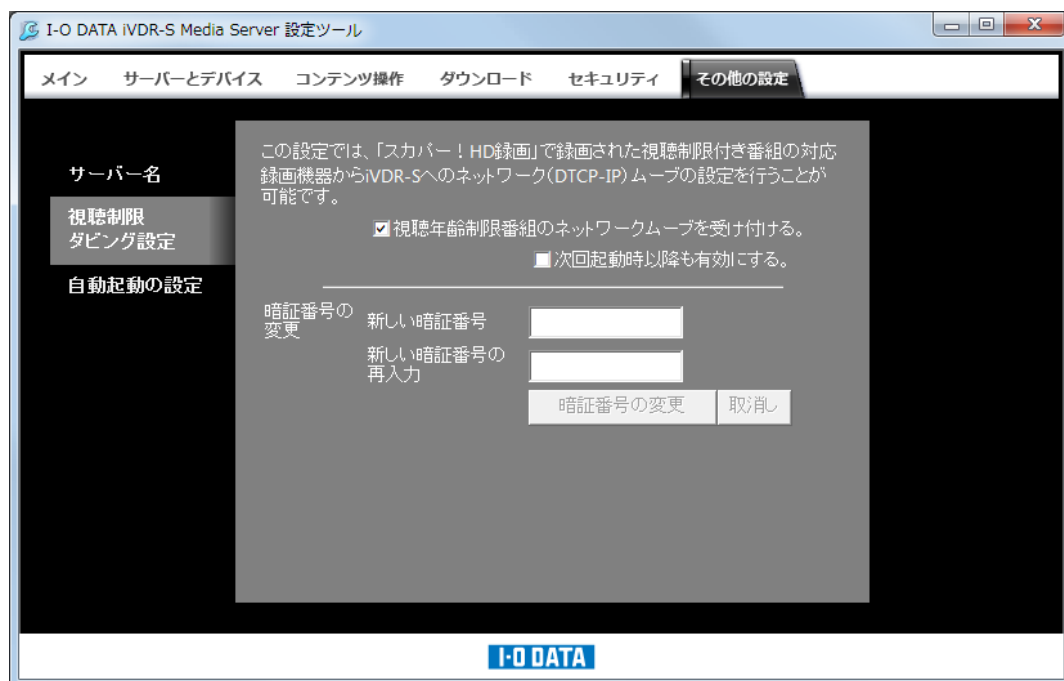


- 3** 「視聴年齢制限番組のネットワークムーブを受ける」にチェックを付けると、以下のようなポップアップ画面が表示されます。  
[OK] ボタンをクリックします。
- ※ 「セキュリティ」機能にて「新規接続があった場合、以下のように自動設定する」のアクセス件のデフォルト設定が「許可する」になっている場合

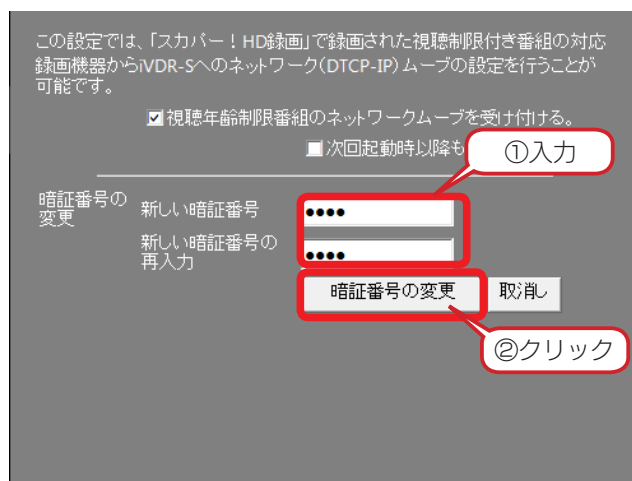


視聴年齢制限番組のムーブを受け付けを有効にした場合、「セキュリティ」タブの「新規接続があった場合、以下のように自動設定する」のアクセス件のデフォルト設定が「許可する」になっている場合、自動で「許可しない」に設定されます。

- 4** 「視聴年齢制限番組のネットワークムーブを受ける」にチェックを付けた場合、以下のようなチェックボックスが表示されます。iVDR-S Media Server を次回起動したときにも、視聴年齢制限番組のムーブを受け付けるようにする場合に、「次回起動時以降も、有効にする」にチェックを付けます。次回起動時にはムーブを受け付けなくてもよい場合は、チェックを外します。



- 5** [暗証番号の変更] ボタンをクリックします。  
[取消] ボタンをクリックすると、入力した番号がクリアされます。



# ネットワークムーブ機能でコンテンツを iVDR-S からムーブする

iVDR-S のコンテンツを、他の機器にムーブアウトすることができます。

## ご注意

- スカパー！プレミアムサービス Link 録画およびダビングには対応していません。

## ステップ1：パソコンがインターネットに接続されていることを確認します

※設定時のみ、インターネット環境が必要となります。インストール完了後はインターネット環境に関係なく番組を視聴することができます。

※パソコンで再生する際は、【動作環境】(11 ページ)をご確認ください。他の再生環境の場合には、再生機器の仕様をご確認ください。

## ステップ2：I-O DATA iVDR-S Media Server のインストールを行います

※すでに I-O DATA iVDR-S Media Server がインストール済みの場合は、ステップ3へお進みください。

1 パソコンにサポートソフト CD-ROM をセットします。

2 サポートソフトメニューが表示されたら、[サポートソフトインストール] ボタンをクリックします。

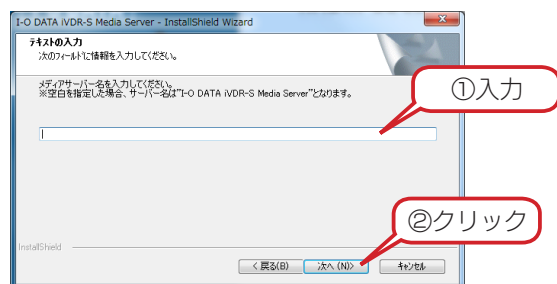


3 はじめに [I-O DATA iVDR-S Media Server トレイツール] をインストールします。[I-O DATA iVDR-S Media Server] ボタンをクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

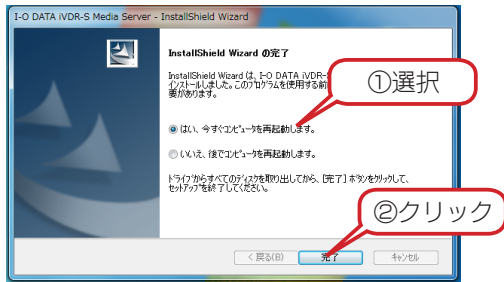


4 次に [I-O DATA iVDR-S Media Server] のインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールしてください。

5 [I-O DATA iVDR-S Media Server] のサーバー名を指定することができます。インストール時に以下の画面が表示されたら、サーバー名を入力し、インストールを続行してください。※空白で指定した場合、サーバー名は「I-O DATA iVDR-S Media Server」となります。



**6** インストール完了後に再起動を求められますので、[はい]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。パソコンが再起動します。



### ご注意

「パブリックネットワーク」環境でご使用の場合は Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。設定方法については、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]内「Windows ファイアウォールの設定」をご覧ください。

### ご注意

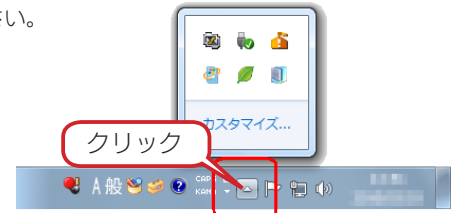
[I-O DATA iVDR-S Media Server] の使用方法については、[スタートメニュー]→[I-O DATA]を順にクリックし、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル]をご覧ください。

**7** タスクトレイにアイコンが表示されていることを確認します。



### タスクトレイにアイコンが見当たらない

Windows 7 の場合、タスクトレイにアイコンが隠れている場合があります。その場合はタスクトレイの（アイコンの画像）ボタンをクリックしてください。



## ステップ3：ムーブする

ネットワークダビング・ムーブに対応した録画テレビや当社 DTCP-IP 対応 LAN 接続ハードディスクを操作してコンテンツを iVDR-S からムーブします。

次ページのムーブの操作例をご覧ください。

※ あらかじめ iVDR フォーマットした iVDR-S メディアをセットしてください。

# iVDR-S のコンテンツをムーブする操作例

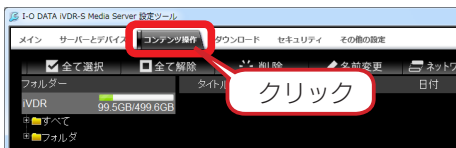
以下は、iVDR-S のコンテンツを、ムーブアウトする場合の操作例です。

以下では、当社製 Blu-ray ドライブ添付のライティングソフト デジオン社製「DiXiM BD Burner 2013 for I-O DATA」を例としています。当社製ハイビジョンレコーディングHDD「RECBOX」や他社ムーブ対応のレコーダーにムーブアウトする場合も、同様の手順となります。

**1** I-O DATA iVDR-S Media Server を起動します。  
タスクトレイのアイコン→[設定ツールを開く]をクリックします。



**2** [コンテンツ操作] をクリックします。



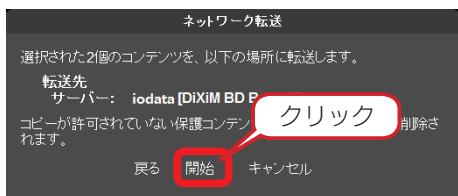
**3** 左のフォルダー一覧で、ムーブするコンテンツが登録されているフォルダーを選択し、ムーブしたいコンテンツにチェックし、[ネットワーク転送] をクリックします。



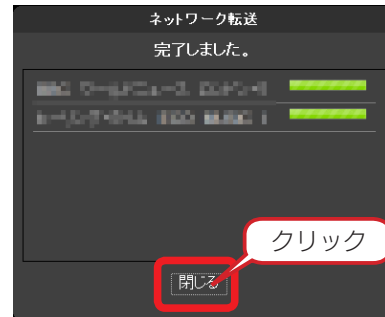
**4** 転送先を選択します。



**5** 内容を確認し、[開始] をクリックします。  
ムーブを開始し、状況が表示されます。



**6** 「完了しました」と表示されたら、[閉じる] を選択します。



## 参考 DiXiM BD Burner 2013 での設定

iVDR のコンテンツを「DiXiM BD Burner 2013」にムーブする際は、以下の設定をおこなってください。

- [書き込み] → [書き込み設定] → [書き込み条件設定] の [デジタル録画番組に自身のサイズをあらゆるデータが含まれない場合でも、ディスクに書き込みを行う] にチェックします。

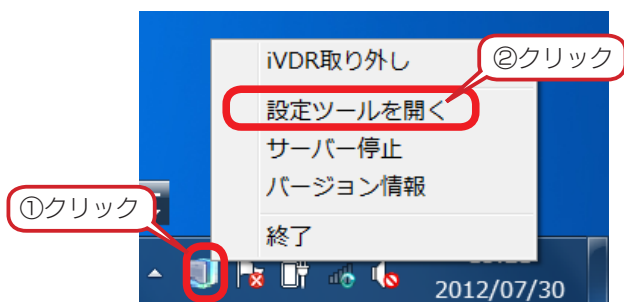




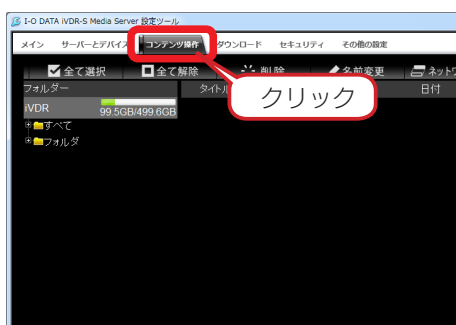
# iVDR-S のコンテンツを管理する (削除・リネーム)

## コンテンツを削除するには

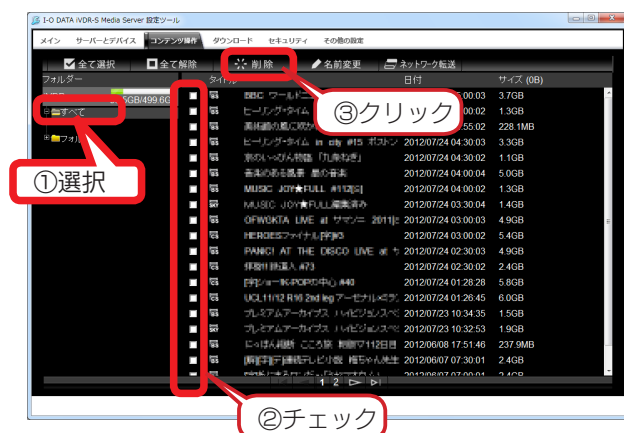
- 1 I-O DATA iVDR-S Media Server を起動します。  
アイコンをクリック→[設定ツールを開く]をクリック  
します。



- 2 [コンテンツ操作] をクリックします。



- 3 左のフォルダ一覧で、削除するコンテンツが登録されているフォルダを選択し、削除したいコンテンツにチェックし、[削除] をクリックします。

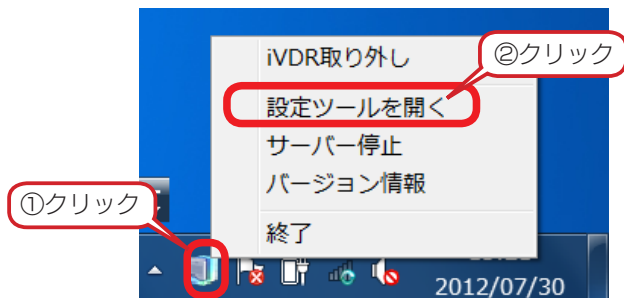


- 4 確認画面が表示されますので、[OK] をクリックします。  
削除が実行されます。

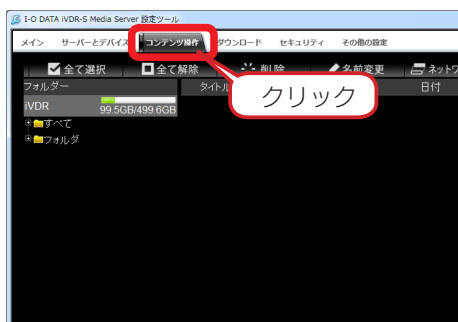


# コンテンツをリネームするには

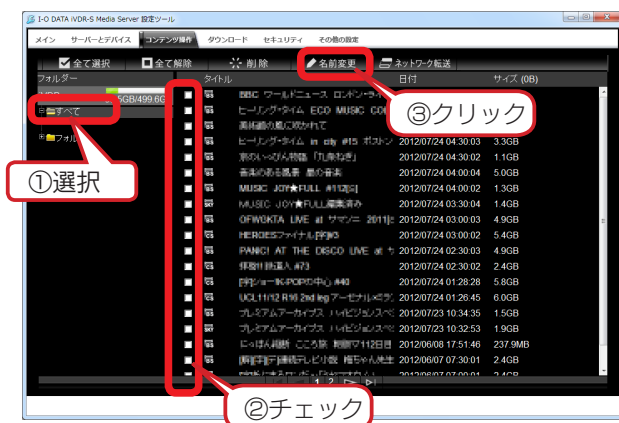
- 1 I-O DATA iVDR-S Media Server を起動します。  
アイコンをクリック→[設定ツールを開く]をクリック  
します。



- 2 [コンテンツ操作]をクリックします。



- 3 左のフォルダー一覧で、リネームしたいコンテンツが登録されているフォルダーを選択し、リネームしたいコンテンツにチェックし、[名前変更]をクリックします。



- 4 コンテンツ名を入力して、[OK]をクリックします。



これでリネームができました。

# ペガシス社「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」連携

本製品は、ペガシス社が発売している動画編集ソフトウェア「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」連携に対応しております。

「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」の詳細は、ペガシス社ホームページをご確認ください。

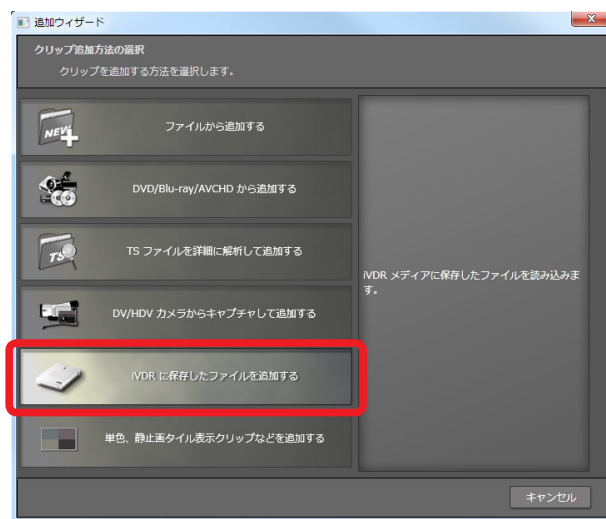
<http://tmpgenc.pegasys-inc.com/ja/product/tmsr4.html>

## ご注意

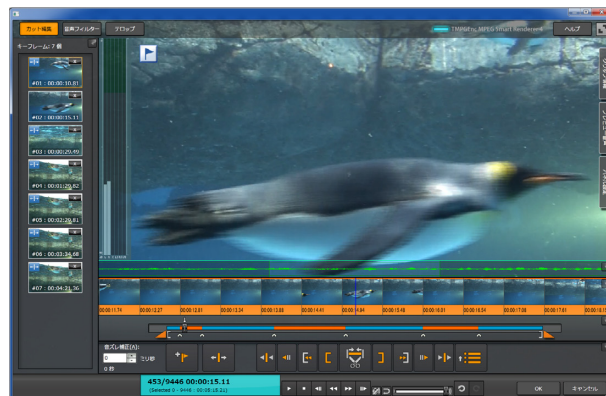
編集を適用すると、カットされたデータは、復元できなくなりますのでご注意ください。

## 連携するには

iVDR-S Media Server が利用できる状態で、「TMPGEnc MPEG Smart Renderer 4」を起動すると、追加ウィザードメニューに「iVDR に保存したファイルを追加する」が表示されます。



iVDR のコンテンツを編集画面に読み込んで、1 フレーム単位での高精細カット編集ができます。



# 添付ソフトウェア

本製品に添付のサポートソフト CD-ROM に以下のソフトウェアが収録されています。

※ Windows のみ対応

ソフトウェア名	特徴
I-O DATA iVDR-S Media Server (「I-O DATA iVDR-S Media Server ツール」 が同時にインストールされます)	Wooo などで録画した iVDR-S のコンテンツをパソコンで利用するためのソフトです。 使用方法については、[スタートメニュー]→[I-O DATA] を順にクリックし、[I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル] をご覧ください。
DiXiM Digital TV plus iVDR Edition	iVDR-S Media Server と組み合わせて、iVDR-S のコンテンツをパソコンで再生することができます。 使用方法については、[スタートメニュー]→「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」 を順にクリックし、「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition ヘルプ」 をご覧ください。
I-O DATA ハードディスクフォーマッタ ※ダウンロードにて対応	iVDR メディアをフォーマットするためのソフトウェアです。 使用方法是次ページをご覧ください。 以下のサポートライブラリよりダウンロードしてお使いいただけます。 <a href="http://www.iodata.jp/lib/">http://www.iodata.jp/lib/</a> ※フォーマットした場合、Wooo で録画した番組などの保存データは、すべて削除されてしまいますのでご注意ください。
完全データ消去ソフト「DiskRefresher3 SE」 ※ダウンロードにて対応	本製品のデータを完全に消去するソフトウェアです。 以下のサポートライブラリよりダウンロードしてお使いいただけます。 <a href="http://www.iodata.jp/lib/">http://www.iodata.jp/lib/</a>

# I-O DATA ハードディスクフォーマッタの使い方

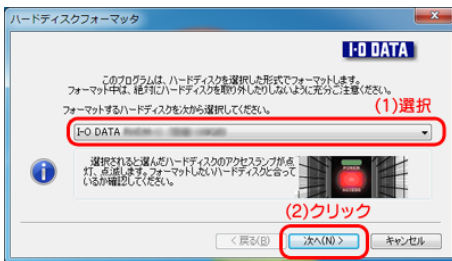
## iVDR メディアを Wooo で利用可能な iVDR 方式でフォーマットする

### ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。  
本製品に必要なデータがある場合は、先に別のハードディスクなどにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。  
※ Wooo で利用する場合は Wooo で初期化することもできます。
- フォーマットしないハードディスクはできるだけパソコンから取り外してください。誤って本製品以外のハードディスクをフォーマットしたりしないよう、できるだけ本製品以外のハードディスクは取り外してください。

1 [I-O DATA ハードディスクフォーマッタ] を起動します。

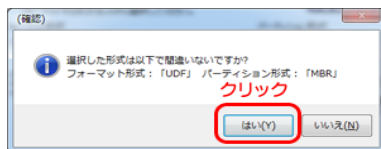
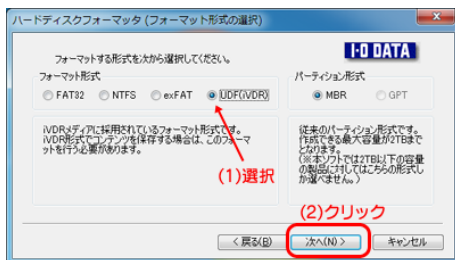
2 本製品を選択後、[次へ] をクリックします。



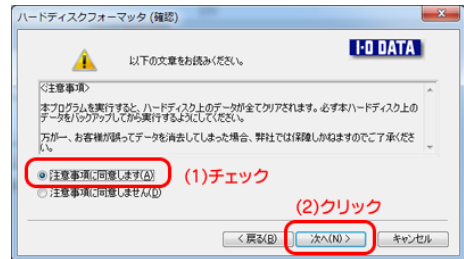
### ご注意

- 画面の“容量”には、製品の容量が表示されます。OS 上で表示される容量とは異なります。

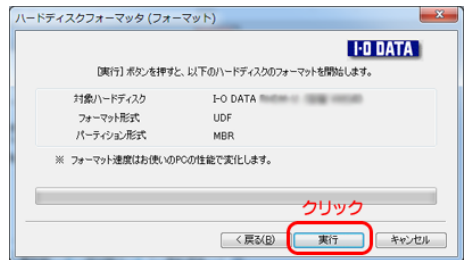
3 [UDF (iVDR)] を選択して、[次へ] をクリックし、[はい] をクリックします。



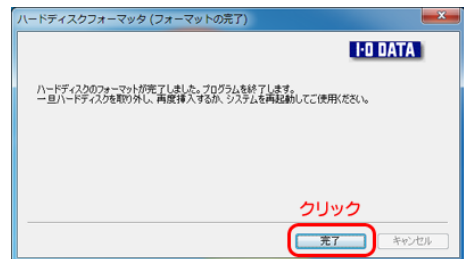
4 本製品のデータが消えてしまうことにご注意ください。  
本製品を初期状態に戻すため、中のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータは他のハードディスク等にバックアップしてください。  
問題なければ、[注意事項に同意します] をチェック後、[次へ] をクリックします。



5 [実行] をクリックします。  
⇒ 本製品は初期状態に戻されます。



6 [完了] をクリックします。  
⇒ I-O DATA フォーマッタが閉じます。



7 一度、本製品を取り外します。

これでフォーマットは完了です。

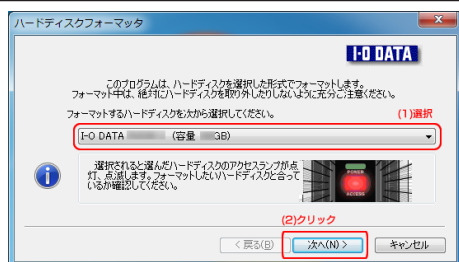
# iVDR メディアをパソコンのデータ用ハードディスクとしてフォーマットする

## ご注意

- フォーマットするとデータは消去されます。  
本製品に必要なデータがある場合は、先に別のハードディスクなどにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
- フォーマットしないハードディスクはできるだけパソコンから取り外してください。誤って本製品以外のハードディスクをフォーマットしたりしないよう、できるだけ本製品以外のハードディスクは取り外してください。

1 [I-O DATA ハードディスクフォーマッタ] を起動します。

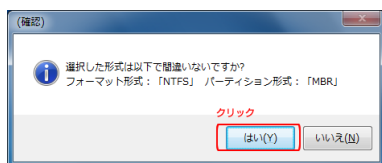
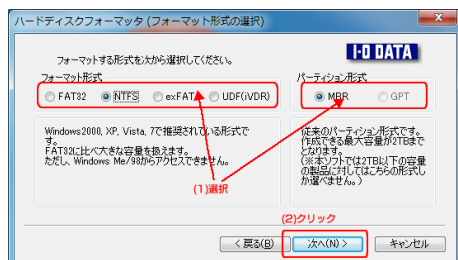
2 本製品を選択後、[次へ] をクリックします。



## ご注意

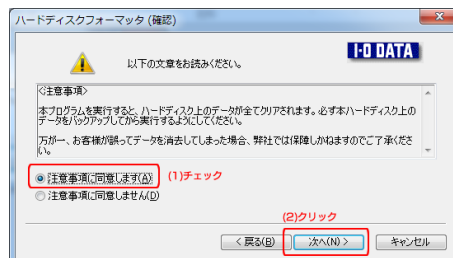
- 画面の“容量”には、製品の容量が表示されます。OS 上で表示される容量とは異なります。

3 [フォーマット形式]、[パーティション形式] を選択して、[次へ] をクリックし、[はい] をクリックします。

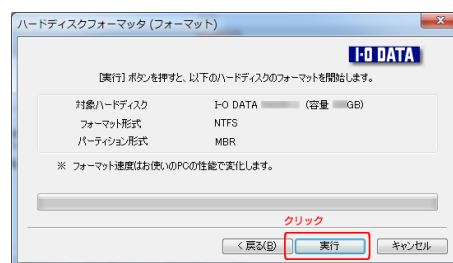


フォーマット形式	FAT32	1 ファイルの最大容量が4GB です。作成パーティションの最大サイズが2TB です。
	NTFS	セキュリティが高く、FAT32 よりも高速です。Mac OS では認識できません。
	exFAT	Windows Vista SP1、Server 2008 のみ対応です。FAT32 の最大容量、サイズを拡張したものです。外部フラッシュメモリー等をフォーマットするときを選択します。
	UDF(iVDR)	iVDR メディアに採用されているフォーマット形式です。データ用としては利用いただけません。iVDR 形式でコンテンツを保存する場合は、このフォーマットを行う必要があります。(34 ページもご確認ください)
パーティション形式	MBR	従来の形式で、ほとんどの OS で扱えます。2TB 以上の容量は扱えません。
	GPT	新しい形式で、2TB 以上のパーティションも作成できます。※ 2TB 以上のハードディスクの場合に選択できます。

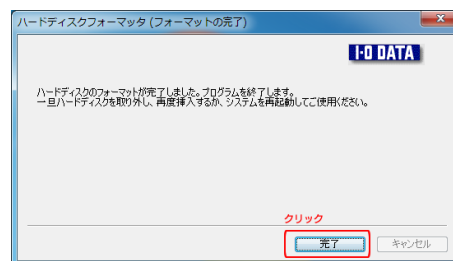
4 本製品のデータが消えてしまうことにご注意ください。本製品を初期状態に戻すため、中のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータは他のハードディスク等にバックアップしてください。問題なければ、[注意事項に同意します] をチェック後、[次へ] をクリックします。



5 [実行] をクリックします。  
⇒ 本製品は初期状態に戻されます。



6 [完了] をクリックします。  
⇒ I-O DATA フォーマッタが閉じます。



7 一度、本製品を取り外します。

これでフォーマットは完了です。

# 製品仕様

インターフェイス仕様	USB2.0, USB1.1
電源仕様	USB バスパワー
使用温度範囲	5 ~ 35℃
使用湿度範囲	20 ~ 80% (ただし結露なきこと)
外形寸法	86(W) x 151(D) x 19(H)mm (突起部除く)
質量	約 90g

## ●フォーマット後の容量について

フォーマット後に OS に表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

- ・本製品の容量：1GB=1,000MB、1MB=1,000,000B で計算
- ・OS 上で表示される容量：1GB=1,024MB、1MB=1,048,576B で計算

例) 500GB のハードディスクの場合

仕様容量約 500GB (=約 500,000MB)

OS 上の表示約 465GB (=約 476,837MB)

## ●対応フォーマットについて

※対応フォーマットのデータでも、形式・作成方法・ネットワーク環境などにより、正しく配信および再生できない場合があります。

「DiXiM Digital plus TV iVDR Edition」

- ・デジタルテレビ番組  
DTCP-IP で著作権保護されたデジタルテレビ番組 (MPEG-2 TS および H.264/AVC)

「I-I-O DATA iVDR-S Media Server」

※ iVDR-S メディアに保存された、以下の録画番組に対応します。

- ・ mAgicTV デジタル放送録画番組
- ・ iVDR-S 対応テレビやレコーダーで録画されたデジタルTV放送録画番組およびアクトビラ ビデオ
- ・ iVDR-S 対応テレビやレコーダーで録画された地上アナログ放送録画コンテンツ
- ・ iVDR-S 対応テレビやレコーダーで録画された外部入力アナログコンテンツ
- ・ ネットワークダビング・ムーブで iVDR-S メディアに転送されたコンテンツ
- ・ セル iVDR
- ・ iVDR 対応 Quick:FLO で作成されたコンテンツ



# 困ったときには

## 本製品のアイコンがない

対処	以下の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ USB ケーブルの接続を確認</li><li>・ 接続する USB ポートを変えてみてください。ハブに接続している場合は、パソコンの USB ポートに直接、接続しなおしてください。</li><li>・ [コンピュータ] ([マイコンピュータ]) の [表示] → [最新の情報に更新] をクリックしてください。</li></ul>
----	---

## 異常音が聞こえる

対処	USB ポートの供給する電源が足りない可能性があります。別売の AC アダプター (USB-ACADP5) をお使いください。別売の AC アダプター (USB-ACADP5) は、アイオープラザ ( <a href="http://www.ioplaza.jp/">http://www.ioplaza.jp/</a> ) でお問い合わせいただけます。詳しくは、以下を参照してください。 <a href="http://www.iodata.jp/product/hdd/option/usb-acadp5/">http://www.iodata.jp/product/hdd/option/usb-acadp5/</a>
----	---

## ユーザーアカウント制御の画面が表示された

対処	[続行] ボタンをクリックしてください。
----	----------------------

## 「取り外しできません」のメッセージが表示された場合

対処 1	使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しを行ってください。それでも同じメッセージが表示された場合は、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。
対処 2	「I-O DATA iVDR-S Media Server」をインストールした場合、 <b>【iVDR-S メディアを取り外す場合】</b> (14 ページ) の手順で取り外してください。

## フォーマットする場合

対処	添付の I-O DATA ハードディスクフォーマッタをお使いください。 <b>【iVDR メディアを Wooo で利用可能な iVDR 方式でフォーマットする】</b> (34 ページ) 参照
----	---

## 「I-O DATA iVDR-S Media Server」がプレイヤーから認識されない

対処	「I-O DATA iVDR-S Media Server」が公開となっていることをご確認ください。確認に関する詳しい手順は、「I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル」をご参照ください。
----	--

## 本製品から OS を起動できない

対処	本製品から OS を起動することはできません。
----	-------------------------

## スタンバイ・スリープから戻ると、本製品が認識されていない

対処	本製品を取り外し、もう一度接続してください。 それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。
----	---

## 本製品の電源ランプが点灯しない

- 対処
- ・USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給してご使用ください。
  - ・本製品はパソコンのUSB ポートより電源が供給されます。電源の入っているパソコンに接続しないと本製品の電源が入りません。電源の入っていないパソコンに接続しても電源 / アクセスランプは点灯しません。

## 本製品を接続するとエラー画面が表示される

- 対処
- 「ハブポートの電力サージ」画面が表示されます。
- 本製品を取り外して、画面上の [リセット] ボタンをクリックしてください。
- その後、USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給して使用するか、パソコン本体のUSB ポートに接続してください。

## フォーマットするとエラー画面が表示される

- 対処
- 「ディスクの管理」でパーティションの作成とフォーマットをした場合、以下のメッセージが表示され、フォーマットが完了せずに「パーティションの作成ウィザード」が完了する場合があります。
- 「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」
- この画面が表示された状態では、フォーマットはされていませんが、パーティションの作成は終わっています。
- この画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。「ディスクの管理」から、作成されたパーティションを右クリックし、表示された [フォーマット] をクリックすることにより、作業が完了します。

## ディスクの管理でフォーマット時に、パーティションのサイズをマウスで設定できない

- 対処
- キーボードによる入力で設定してください。

## パソコンの電源を切ったのに本製品の電源ランプが点灯したままとなっている

- 対処
- パソコンによっては、電源を切ってもポートに電源が供給されている場合があります。
- その場合は、本製品の電源は入ったままとなります。本製品を取り外してください。

## 本製品を読み書きしていると他の USB 機器が認識されない

- 対処
- この場合、すぐには認識されません。
- 本製品を使い終わってから、他の USB 機器を接続してください。

## USB ハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

- 対処
- USB ハブから本製品を取り外し、パソコンのUSB ポートに接続してください。
- また、USB ハブに AC アダプターを取り付けられる場合は、AC アダプターを取り付けて電源を供給してください。

## 本製品が認識されず、本製品から「カタカタッ」と音がする

- 対処
- USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給してご使用ください。

## 本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、本製品のアイコンが2つ表示される

- 対処
- パソコンの設定により、USB 機器から起動できないようにしてください。
- 詳しい方法については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

## 本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる

- 対処
- ・本製品を接続したままでは起動できません。
  - ・本製品を取り外した状態で、パソコンを起動してください。パソコンが起動し終わったら、本製品を接続してください。
  - ・接続と電源を確認してください。

## USB ポートから取り外す際に、警告が表示される

対処 パソコンの電源が入っている状態でパソコンから本製品を取り外す場合は、取り外し手順を行った後に取り外す必要があります。

## 容量が残っているのに、ファイルを保存できない

対処 1 つのフォルダーに保存／作成できるファイル・フォルダーには限りがあります。  
保存できなくなった場合、別のフォルダーにファイルを保存してください。  
または、いくつかファイルを他の場所に移した後、その中にフォルダーを作り、そこに保存してください。

## 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」のサーバーに「I-O DATA iVDR-S Media Server」本製品が表示されない

対処 1 「I-O DATA iVDR-S Media Server」が公開となっていることをご確認ください。

確認手順は、「I-O DATA iVDR-S Media Server マニュアル」をご参照ください。

対処 2 本製品および iVDR-S メディアがパソコンに接続されていることを確認してください。

## 添付の「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」では RECBOX や、パソコンに保存されているコンテンツを再生することはできますか？

対処 再生可能です。本製品 (RHDM-US) をパソコンに接続した状態でのみご利用いただけます。

## 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」のサポートについて

対処 DigiOn 「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」の使い方や不明な点などは、株式会社アスクにお問合せください。(問い合わせ方法については、インターネットによるサポートのみとなります。)

詳細は、[【■「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」に関するお問い合わせ】\(11 ページ\)](#)をご確認ください。

## PlayStation 3 などの DTCP-IP 対応機器から「I-O DATA iVDR-S Media Server」を経由して録画番組が表示されない

対処 接続しているネットワークが[パブリック ネットワーク]の場合には「I-O DATA iVDR-S Media Server」にて番組の配信が行えません。

コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックし、アクティブなネットワークの表示の項目を「ホーム ネットワーク」または「社内 ネットワーク」へ変更してお試しください。

## 「mAgicTV Digital」で録画したコンテンツを iVDR-S にダビング (コピー / ムーブ) するとき、音声を指定して書き込むことはできますか？

対処 できません。ただし、「DiXiM Digital TV plus iVDR Edition」で音声を指定して再生することができます。

## 本製品を複数パソコンに接続して、使用することはできますか？

対処 1 台のみ認識することができます。ただし、iVDR-S メディアをつなぎ変えて使用することができます。

## コンピューター (マイコンピュータ) 内のアイコンをダブルクリックしてもアクセスできない。

対処 「I-O DATA iVDR-S Media Server」が稼働中で Wooo で録画した番組が保存された iVDR-S メディアを接続している場合はアクセスできません。

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
  - 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
  - 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
  - 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。  
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
  - 5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  - 6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
  - Microsoft、Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
  - Apple、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、FireWire、Power Mac、Mac、Mac OS、Mac OS ロゴおよびその標章は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
  - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

RHDM-US シリーズ取扱説明書 2013.4.16

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地